

**2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた  
ピクトグラム（図記号）のあり方検討事業  
成果報告書**

**2019 年 3 月**

## はじめに

この報告書は、2018 年度自主事業として実施した「オリンピック、パラリンピック開催に向けた移動と交通に関する調査等」事業の成果をまとめたものです。

本事業が対象とする「案内用図記号（ピクトグラム）」とは、不特定多数の人々が利用する公共施設や公共交通機関、観光施設等において、文字・言語によらず対象物、概念または状態に関する情報を提供する図形であり、文字情報と比較して、だれもがひと目でその表現内容を理解でき、遠方からの視認性にも優れているといわれています。また、言語の知識を要しないといった利点があり、視力の低下した高齢者や障害のある方、日本語のわからない外国人観光客等にも理解できる有効な情報提供手法として、日本を含め世界中の公共交通機関や観光施設等で広く掲示されています。

当財団では 2002 年日韓ワールドカップ開催を控えた 1999、2000 年度に日本財団からの補助事業として検討を進め、当時 125 個の図記号を 8 つのカテゴリーに体系化した「標準案内用図記号ガイドライン」を作成し、そのうち 110 個が「JISZ8210 案内用図記号」として制定されるに至っています。その後、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、わかりやすいサイン環境を目指すために 2015、2016 年度に再び日本財団からの助成事業として 19 個の図記号を新規作成及び見直し、「標準案内用図記号ガイドライン改訂版」としてとりまとめ、そのうち 17 項目が JISZ8120 に登録されるに至りました。しかし、検討項目としてあがっていたものの議論が過渡期であり引き続き検討が必要とされた項目が残されておりました。

そこで、2018 年度に自主事業として、2020 年東京オリンピック・パラリンピック以降も視野にインクルーシブな社会構築の一助として残された項目も含め、改めて検討を進めました。障害者団体やサイン関係者、公共交通機関や公共施設関係者等へのヒアリング調査、意見交換会、説明会を通して、図案を作成し、理解度や視認性の試験を経て、新たな図記号を作成するに至りました。今後、「標準案内用図記号ガイドライン改訂版」への追加登録も進める必要がありますが、まずは周知啓発に努めることにより、誰もが安全に、安心に移動できるサイン環境構築の一助となれば幸いです。

調査及び作成にあたっては、意見交換会主査の高橋儀平東洋大学ライフデザイン学部教授をはじめ、意見交換会委員各位、オブザーバー各位、関係機関、交通事業者の皆さまに多大なる御協力とご助言を賜りました。

ここに、改めて感謝の意を表する次第です。

2019 年 3 月

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団  
理事長 大久保 仁

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた  
ピクトグラム（図記号）のあり方検討事業 成果報告書  
目次

はじめに

第 1 章 事業概要

1.1 事業目的 .....	5
1.2 計画の概要 .....	5
1.3 スケジュール .....	6

第 2 章 事業経緯

2.1 検討項目の策定 .....	7
2.2 検討すべき図記号の作成 .....	12
2.3 理解度・視認性試験 .....	13
2.4 SDA における検討結果 .....	20
2.5 試験結果のまとめと図記号修正方針 .....	22
2.6 最終提案 .....	27

あとがき

参考資料

参考資料 1 図記号事例収集抜粋 .....	31
参考資料 2 ヒアリング議事録 .....	35
参考資料 3 理解度・視認性試験回答一覧 .....	46
参考資料 4 会議開催記録	
委員会(第 1 回、第 2 回) .....	49
作業部会(第 1 回～第 5 回) .....	61
説明会(第 1 回、第 2 回) .....	74
参考資料 5 図記号検討の推移一覧 .....	77

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたピクトグラム（図記号）のあり方  
意見交換会 構成

主査	高橋 儀平	東洋大学ライフデザイン学部 教授
委員	赤瀬 達三	株式会社黎デザイン総合計画研究所 代表取締役
	秋山 哲男	中央大学研究開発機構 教授
	安部井聖子	社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会
		東京都重症心身障害児(者)を守る会 会長
		練馬区重症心身障害児(者)を守る会 会長
	今西 正義	DPI 日本会議
	岩本 健良	オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会 座長 金沢大学人文学類 准教授
	大濱 眞	公益社団法人全国脊髄損傷者連合会 代表理事
	小幡 恭弘	公益社団法人全国精神保健福祉会連合会 事務局長
	児山 啓一	ISO/TC145/SC1 国内対策委員会 主査
		株式会社アイ・デザイン 代表取締役
	佐々木桃子	全国手をつなぐ育成会連合会 副会長
		社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 会長
	定村 俊満	公益社団法人日本サインデザイン協会 常任理事
		株式会社ソーシャルデザインネットワークス 代表取締役社長
	佐藤 加奈	社会福祉法人日本身体障害者団体連合会 事務局次長
	谷口 良雄	公益社団法人日本オストミー協会 会長
	中野 泰志	慶応義塾大学経済学部 教授
	中野 豊	一般社団法人日本標識工業会 会長
		ISO/TC145/SC2 国内対策委員会 主査
	中村 祐二	ISO/TC145 国内対策委員会 委員長
		ISO/TC145/SC3 国内対策委員会 主査
		学校法人自由学園 LAリーダー 兼 最高学部特任教授
	橋口亜希子	一般社団法人日本発達障害ネットワーク 事務局長
	原 ミナ汰	性的指向および性自認等により困難を抱えている当事者等に対する法整備のための全国連合会 共同代表
		NPO 法人共生社会をつくるセクシャル・マイリティ支援全国ネットワーク 代表理事
	平野 祐子	主婦連合会 副会長 / 社会部 部長
	松田 妙子	NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたピクトグラム（図記号）のあり方  
作業部会 構成

委員	秋山 哲男	中央大学研究開発機構 教授
	児山 啓一	ISO/TC145/SC1 国内対策委員会 主査 株式会社アイ・デザイン 代表取締役
	定村 俊満	公益社団法人日本サインデザイン協会 常任理事 株式会社ソーシャルデザインネットワークス 代表取締役社長
	高橋 儀平	東洋大学ライフデザイン学部 教授
	中野 泰志	慶応義塾大学経済学部 教授

オブザーバー

オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会  
経済産業省産業技術環境局国際標準課  
国土交通省総合政策局安心生活政策課  
公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会  
一般財団法人日本規格協会  
独立行政法人日本スポーツ振興センター新国立競技場設置本部  
東京都オリンピック・パラリンピック準備局

事務局

吉田 哲朗 公益財団法人交通工場のバリアフリー財団理事兼バリアフリー推進部長  
竹島 恵子 公益財団法人交通工場のバリアフリー財団バリアフリー推進部企画調査課 担当課長  
(2018年5月まで)  
坂下 晃 公益財団法人交通工場のバリアフリー財団理事兼バリアフリー推進部長

(2018年10月時点 五十音順、敬称略)

## 第1章 事業概要

---

### 1.1 事業目的

2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催が 2 年後に迫り、公共交通機関や新たな競技施設建設等公共空間において、外国人来訪者等を含めた利用者にわかりやすいサイン環境が求められ、整備が進められているところである。そもそも 2002 年日韓ワールドカップ開催が決定したことをきっかけに日本では「標準案内用図記号ガイドライン」が作成され、それが「JISZ8210 案内用図記号」として登録されたことは周知の事実であり、その後必要に応じて追加されている状況である。

一方、観光庁が 2005 年 6 月にとりまとめた「観光活性化標識ガイドライン」において、「サイン（標識）はユニバーサルデザインの観点から日本語、英語、ピクトグラム（図記号）の 3 種類の表記を基本とする」とされている。サインのコンテンツの一つとなるピクトグラム（図記号）は、一見してその表現内容を理解できることから、文字表示に比べて優れた情報提供手段として、高齢者や障害のある人だけでなく、外国人来訪者にとっても利便性が高まることが期待できる。

以上のことを踏まえ、エコモ財団自主事業として、2020 年以降を視野に、誰もが安心して移動、利用できるインクルーシブな社会構築の一助としてのサイン環境構築のため、新たな図記号の検討を行うことを目的とした。また、本事業で検討した図記号は「標準案内用図記号ガイドライン改訂版」と「JISZ8210 案内用図記号」への登録提案も見据えた検討とした。

### 1.2 計画の概要

検討する項目案としては、2015～2016 年度日本財団助成事業としてとりまとめた「標準案内用図記号ガイドライン改訂版」検討の際に検討課題として残されたトイレ関連の図記号等とした。

検討内容と手順は次のとおりとした。

①検討すべき項目の整理：統一を目指した図記号として検討すべき項目を整理

↓

②図記号案の作成：①の整理内容に基づき、図記号案を作成

↓

③理解度・視認性試験の実施：理解度試験、及び視認性試験を実施

↓

④意見交換会（学識経験者、サイン関係のデザイナー及び専門家、当事者団体、行政担当者等）と、作業部会を設置

↓

⑤関係団体（当事者団体等）へのヒアリング調査と、関係団体（交通、建築、観光、商業、一般消費者、行政担当者等）への説明会を実施

↓

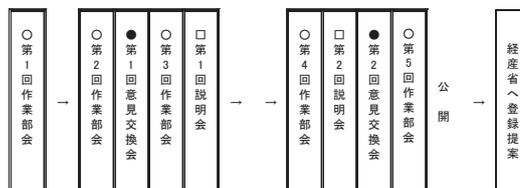
⑥報告書等の作成：試験結果を踏まえ、統一化に向けた図記号一覧を作成すると共に、広く周知啓発を目指す。また、経済産業省へ登録提案を行う。

# 第1章 事業概要

## 1.3 スケジュール

2018年秋までに策定可能であればオリパ関係施設との調整が見込めること、2019年度にJIS化を検討するためには2018年中に結論を出す必要があったことから、2018年10月に公開、経産省へ登録提案することとした。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月以降
作業部会／検討図記号の抽出		○19日 第1回作業部会								
図記号使用例の収集+ISO調査/エコモ+コメンバ+SDA	—									
図記号の構成要素の整理/SDA	—									
1次デザイン案の作成/SDA		—								
打合せ/スケジュール確認、1次デザイン案の確認		○15日 打合せ								
当事者団体へのヒアリング/エコモ+SDA		—								
作業部会/ヒアリング結果、1次デザイン案の評価、理解度・視認性試験方法			○30日 第2回作業部会							
意見交換会/ヒアリング結果、1次デザイン案の評価、理解度・視認性試験方法			●13日 第1回意見交換会							
2次デザイン案の作成/SDA			—							
説明会/デザイン案の公表、(評価)				□4日 第1回 説明会						
作業部会/理解度・視認性試験内容の確認				○26日 第3回作業部会						
理解度・視認性試験(試験実施(7月上旬~8月中旬)及び分析)				—						
作業部会/理解度・視認性試験結果、表示項目・図案等調整						○23日 第4回 作業部会				
2次デザイン案修正検討、調整/SDA					—					
説明会/デザインの公表、(評価)						□3日 第2回 説明会				
最終デザインの決定と一覧表の作成						—				
意見交換会/最終デザインの報告						●14日 第2回 意見交換会				
作業部会/最終デザインの確認						○20日 第5回 作業部会				
デザインの最終調整と一覧表の作成/SDA+NDCグラフィックス						—				
一覧表の公開							★			
報告書の作成								—		



## 第2章 事業経緯

---

### 第2章 事業経緯

#### 2.1 検討項目の策定

検討項目の策定にあたり、2015年度に行った既存事例収集のレビューと関係団体等へのヒアリング調査を実施した。

検討する項目は、2015～2016年度日本財団助成事業としてとりまとめた「標準案内用図記号ガイドライン改訂版」検討の際に検討課題として残されたトイレ関連等を中心とする次の図記号とした。

##### ○乳幼児用設備

- ・ベビーチェア
- ・おむつ交換台
- ・キッズトイレ／子供用／男子用便器
- ・フィッティングボード／着替え台

##### ○オストメイト用設備

- ・簡易型オストメイト用設備

##### ○その他

- ・多目的シート／介護用ベッド
- ・異性介助トイレ／異性同伴トイレ
- ・男女共用トイレ
- ・補助犬トイレ（除外することとした）
- ・カームダウン室（キックオフで、オリパラに向けて必要な一連の施設に対応するため追加した）

注記1）この段階の名称は仮案である。

注記2）カームダウン室は、キックオフで、オリパラに向けて必要な一連の施設に対応するため必要との要請があり追加した。

注記3）補助犬トイレは当初の候補に入っていたが、厚労省に確認したところ、厚労省の「ほじょ犬マーク」を多機能トイレ等に啓蒙の意味で張り付けることはあるが、補助犬トイレというカテゴリーでの作成は必要ないとの意見を受領したので検討項目から除外することにした。

#### 2.1.1 事例調査の実施及び実施結果の整理

2015年度に行った日本財団助成事業「2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた案内用図記号（ピクトグラム）作成事業」の中から今年度検討する項目を抜粋し、それに今年度新たに検討する異性介助、男女共用を加えて、既存事例収集資料とした。

その結果、ベビーチェア、おむつ交換台、フィッティングボード／着替え台、多目的シート／介護用ベッドでは、愛知万博用に作成された図記号が広範囲に使用されており、キッズトイレ／子供用／男子用便器でも男女の幼児の立位でほぼ統一されていたことから、その中から代表的なものを図記号検討用の候補として選んだ。簡易型オストメイト用設備は、新規設備のため、既存事例はなかった。異性介助トイレ／異性同伴トイレ、男女共用トイレは新しい概念のため、世界各地で見られるオールジェンダーやジェンダーニュートラル等、LGBT関連の図記号を参考に収集した。カームダウン室については、世界の空港や特殊学校等での事例を探したが、該当するものはなかった。以上の事例調査実施結果をまとめて、検討すべき図記号（案）を作成した。（既存事例収集一覧は「参考資料1」として添付）

## 第2章 事業経緯

### ○検討すべき図記号（案）

検討すべき項目	図記号案	検討すべき項目	図記号案
<p>1. 多目的シート／ 介助用ベッド</p> <p>図材：ベッドに横たわる人と介助者 機能：おむつ交換、介助等多目的に利用できる設備を表示</p>	 <p>出典：愛知万博向 ・NDCG 作成</p>	<p>4. キッズトイレ</p> <p>図材：男子と女子の立位 機能：独立した子供用のトイレゾーンを表示</p>	 <p>新規作成</p>
<p>2. ベビーチェア</p> <p>図材：椅子に固定された幼児と洋便器に座る保護者 機能：トイレブース内にある乳幼児の固定設備を表示</p>	 <p>出典：愛知万博向 ・NDCG 作成の便器形状を JIS 検討中の図記号に合わせて変更 ・JIS ベビーケアルームに合わせ左右反転</p>	<p>5. フィッティング ボード／着替え台</p> <p>図材：壁面から回転させる足乗せ台と立位の人 機能：トイレブース内にある着替え用設備を表示</p>	 <p>出典：成田空港 Changing Platform</p>
<p>3. おむつ交換台</p> <p>図材：乳幼児の上にかがみこむ人間を横から見た図 機能：おむつ交換ができる設備を表示</p>	 <p>出典：愛知万博向 ・NDCG 作成 ・JIS ベビーケアルームに合わせて左右反転</p>	<p>6. 簡易型 オストメイト用設備</p> <p>図材：人の上半身正面図の右下に白抜き十字形 機能：ストーマ装具（パウチ）洗いの水洗設備が付属する便器設備を表示</p>	 <p>簡易型</p> <p>JIS Z8210 オストメイト図記号に「簡易型」の補助表示をつける</p>

## 第2章 事業経緯

検討すべき項目	図記号案	検討すべき項目	図記号案
<p>7. 男女共用トイレ</p> <p>図材：立位の女性と中性中仕切なし 機能：性別に関係なく利用できる、または介助者と共に利用できるトイレブースを表示 ※LGBT 対応、知的障害者等の介助を伴う利用を含む</p>	 <p>男女共用</p> <p>JIS Z8210 お手洗図記号の中仕切をとる「男女共用」「異性介助」などの補助表示をつける</p>	<p>8. カームダウン</p> <p>図材：間仕切りの中の椅子に座る人 機能：周りから独立して、気持ちを落ち着かせることができる小空間を表示</p>	 <p>案1</p>  <p>案2</p>  <p>案3 ※当事者団体ヒアリングで使用</p>

※NDCG 作成：NDC グラフィックス+中川憲造により、既存 JIS 図記号と統一されたイメージで作成されたもの。  
※異性介助トイレ／異性同伴トイレと男女共用トイレは、設備に差がなく機能分散が困難なので、項目を統合し、文字による補助表示で区分する方針とした。

### 2.1.2 当事者団体へのヒアリングの実施及び実施結果の整理

2018年5月から6月にかけて、実際に設備を利用される関係団体の方々へ検討すべき項目についてヒアリング調査を実施した。

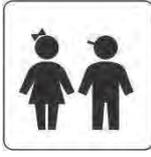
#### ①ヒアリング先一覧

	ヒアリング先	訪問日時(2018年)	参照記号
1	主婦連合会	5月16日(水)13:00	主
2	社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会	5月17日(木)13:30	重
3	公益社団法人全国脊髄損傷者連合会	5月17日(木)15:30	脊
4	公益社団法人日本オストミー協会	5月21日(月)15:00	オ
5	公益社団法人全国精神保健福祉会連合会	5月22日(火)10:30	精
6	株式会社トロワ・クルール	5月22日(火)14:00	ト
7	全日本難聴者・中途失聴者団体連合会	5月23日(水)18:00	難
8	一般社団法人日本発達障害ネットワーク	5月24日(木)10:00	発

## 第2章 事業経緯

9	DPI 日本会議	5月24日(木)14:00	D
10	NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会	5月25日(金)14:30	子
11	公益社団法人全国手をつなぐ育成会連合会	5月31日(木)14:00	手
12	一般財団法人全日本ろうあ連盟	6月1日(金)14:00	ろ
13	オフィスタイルのオールジェンダー利用に関する研究会	6月4日(月)13:00	ジェ
14	公益財団法人日本知的障害者福祉協会	8月16日(木)13:30	知

### ②当事者団体からのコメント抜粋（詳細は「参考資料2 ヒアリング議事録」参照）

検討すべき項目	図記号案	コメント抜粋（括弧内はヒアリング先参照記号）
1. 多目的シート／ 介助用ベッド	 代案 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 項目の表現について <ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護」より「介助」が良い(精)</li> <li>・「ベッド」より「シート」が良い(手)</li> <li>・「介助用シート」が良い(手)</li> <li>・「多目的」が良い理由：広義で誰でも使いやすい(主・重・オ・難)</li> <li>・「介助用」が良い理由：本当に必要な人向けに専用性がある表現が良い(脊・手)</li> </ul> </li> <li>● 図案について <ul style="list-style-type: none"> <li>・シートに「脚」がある方が良い(ろ)</li> </ul> </li> </ul>
2. ベビーチェア		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 図案について <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんの座面位置が少し高い気がする(ろ)</li> </ul> </li> </ul>
3. おむつ交換台		<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案で良い</li> </ul>
4. キッズトイレ	 代案 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 項目の表現について <ul style="list-style-type: none"> <li>・カタカナよりも「児童用トイレ」「子供用トイレ」はどうだろうか(難)</li> </ul> </li> <li>● 図案について <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供らしい可愛らしさを表現した方が良い(例：女子は三つ編みやおさげ、男子は帽子) 但し、過度な表現は配慮(ジェンダー問題)が必要(ろ・ジェ)</li> </ul> </li> </ul>

<p>5. フィッティング ボード／着替え台</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●項目の表現について</li> <li>・カタカナよりも「着替え台」の方が、用途が分かりやすい(難・手・ジエ)</li> <li>・フィッティングボードの方がよい(オ)</li> <li>・文字による補助表示をする場合は英語も必要(手)</li> <li>・靴を脱いで使用するなどの、使用方法の説明が別途必要(精・発)</li> <li>●図案について</li> <li>・台に片足を乗せようとしている人の図が良いと思う。靴を脱いでいる表現が出来れば尚良い(ろ)</li> </ul>
<p>6. 簡易型 オストメイト用設備</p>	 <p>簡易型</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●項目の表現について</li> <li>・文字による補助表示が必要(主・脊)</li> <li>●図案について</li> <li>・シンク型でない設備への表示は好ましくない(オ)</li> </ul>
<p>7. 男女共用トイレ</p>	 <p>男女共用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●項目の表現について</li> <li>・日本語、英語の文字による補助表示が必要(主・重・脊・オ・難・発)</li> <li>・「異性介助」を優先的に表示する方がよい(ジエ)</li> <li>・新しい概念なので啓発や説明を添える必要がある(ト・難・発・手)</li> <li>・「だれでも」という視点での表示が必要(ジエ)</li> <li>・日本語「だれでもトイレ」または「男女共用広めトイレ」、英語「EVERYONE」または「ALL GENDER」はどうか(脊・ジエ)</li> <li>・複数人数が入ってよいことを表示できないか。また、介助のイメージがだせないか(精・手・知)</li> <li>●図案について</li> <li>・中仕切線の有無だけでは、違いが分かりにくいと思う(D・ろ・ジエ)</li> </ul>
<p>8. カームダウン</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●項目の表現について</li> <li>・新しい概念なので啓発や説明を添える必要がある(難・手)</li> <li>・クールダウンという言い方をしている(主・脊・手・知)</li> <li>・部屋という「室」ではない(精・難・発・手)</li> <li>●図案について</li> <li>・屋根表現は丸いドーム型が良いと思う(ろ)</li> <li>・椅子はシンプルな方がよい(発・子)</li> <li>・ブラインドや少し暗い表現があるとよい(手・ろ)</li> <li>・ヘッドフォンを付けてはいかがか(知)</li> </ul>

### 2.2 検討すべき図記号の作成

検討すべき図記号（案）に対する当事者団体からのコメントを基に、公益社団法人日本サインデザイン協会（以下、SDAとする）では、内部に「2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたピクトグラム（図記号）のあり方検討事業」を設置して、検討すべき図記号案 8 項目について、それぞれの項目名称と図記号案を再検討した。

#### (1) 介助用シート

- ・項目名称は提案通り。
  - ・図記号は細部が潰れることが懸念される。
- 2000 年策定時の最小隙間は守っているはずだが、再作図する際に確認する。

#### (2) ベビーチェア

- ・項目名称、図記号とも提案通り。

#### (3) おむつ交換台

- ・項目名称、図記号とも提案通り。

#### (4) キッズトイレ

- ・項目名称は日本語がよい。
- 「こどもトイレ Children's toilet」とする。

#### (5) フィッティングボード

- ・項目名称は日本語がよい。
- 「着替え台」とする。英語は判断材料がない。
- ・図記号は既に使用例があるので、このままとする。

#### (6) 簡易型オストメイト用設備

- ・図記号策定の意図、使用方法、項目名称等、SDA では判断できないので、当事者団体及びオリパラ関連組織の意向に任せる。
- ・理解度試験時、図記号の下に「簡易型」の補助表示を入れた状態で行う。

#### (7) 男女共用トイレ

- ・啓発、学習、プロモーションが必須であることを強く訴える。
  - ・男女共用と異性介助の図記号は、施設の状況を考えると同じとすべき。
  - ・項目名称は「男女共用トイレ」とする。
  - ・図記号は一般の「お手洗」図記号と区別するために工夫が必要なことも理解できるが、特定の設備を設置することができない場合、多機能トイレが共用されることも考慮する必要がある。
- 車いす等の図記号と組み合わせることができる、単純な男女の図形がよい。

#### (8) カームダウン

- ・項目名称、図記号については（SDA が判断するのではなく）当事者、医者、家族の意見が必要。
- ・普及、啓発のために何が必要か考えておく。

以上の考えで項目名称と図記号案を整理し、理解度、視認性試験を行うことにした。

## 第2章 事業経緯

### 2.3 理解度・視認性試験

#### 2.3.1 理解度試験、視認性試験概要

作成した図記号案について、一般に対する評価を客観的に把握するために理解度及び視認性試験を行った。

##### (1) 試験対象項目（7項目）

四者択一方式			
 <p>介助用ベット Care bed</p>	 <p>ベビーチェア Baby chair</p>	 <p>おむつ交換台 Diaper changing table</p>	 <p>こどもトイレ Children's toilet</p>
 <p>着替え台 Changing board</p>	 <p>男女共用トイレ All gender toilet</p>	 <p>カームダウン(クールダウン) Calmdown (Cooldown)</p>	

(2) 実施方法：紙面調査（①日本語版（A5版）、②日英併記版（A4版）、③ルビ振り、平易な日本語版（A4版））

(3) 実施時期：2018年7月2日（月）～2018年8月15日（金）

(4) 実施国及び対象者数：日本 362名、外国人 88名 計 450名

○日本人：362名（五十音順）

・オフィスタイルにオールジェンダー利用に関する研究会、主婦連合会、全国重症心身障害児(者)を守る会

・DPI 日本会議、東京都手をつなぐ育成会連合会、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会、

・日本オストミー協会、SDA、日本発達障害ネットワーク

○外国人：88名（五十音順）

・川崎市多摩区役所まちづくり推進部生涯学習支援課、慶応義塾大学、東洋大学、

・日本財団ボランティアサポートセンター、ワンステップ 他

##### (5) 試験概要

<調査画面構成>

①説明ページ：調査内容と記入方法の説明をするページ

②フェイスページ：日付や回答者の年齢を記入するページ

③記入例ページ：回答の記入方法を例示するページ

④調査ページ：回答を記入するページ（調査項目の数分）

※調査ページの表示順番は順序効果の偏りを防止するため、ランダム表示とする。

## 第2章 事業経緯

### ○紙面調査画面イメージ（日本語 一般）

#### ①説明ページ ②フェイスページ

●このページはあなたご自身についてお答えください。お名前を書かないでください。

回答日 2018 年 月 日

●該当するものに  をつけてください。

- あなたの年齢をお答えください。
  15～30歳  31～50歳  51～64歳  65歳以上
- あなたの性別をお答えください。
  男性  女性  その他  答えたくない
- あなたの最終学歴をお答えください。
  中学校卒  高校卒  大学以上  その他
- あなたが外出する時に使う補助具などはありますか？ 当てはまるものをすべてお答えください。
  特になし  手動車いす  電動車いす  
 歩行器  杖（つえ）  白杖  
 コミュニケーションツール（コミュニケーション支援ボード、筆談具等）  その他（ ）
- 普段のものの見え方について、あなたに当てはまるものをお答えください。（普段メガネ、コンタクトを使用している方は、着用時の見え方についてお答えください）
  特に問題ない  見えづらい  見えにくい
- 普段の聞こえ方について、あなたに当てはまるものをお答えください。（普段補聴器を使用している方は、着用時の聞こえ方についてお答えください）
  特に問題ない  聞こえづらい  聞こえない

#### ③記入例ページ

●このページは図記号と回答例を示しています。

A) 以下に示された回答について、一番適当だと思う意味を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

 ① コインロッカー  
2 手荷物一時預かり  
3 手荷物は預ける前に施錠する  
4 鍵コピー

B) 下の図記号の見え方の程度を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

 1 2 3 ④ 5

形がわからない 形がやや見にくい どちらともいえない 形が大体見える 形がはっきりと見える

<このあと、回答ページが続きます。>

#### ④調査ページ（例：介助用ベッド）

●次の図記号は駅、空港、公共施設、ショッピングモールなどで見かけることがあります。

A) 以下に示された回答について、一番適当だと思う意味を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

 1 休憩ベッド  
2 マッサージ台  
3 介助用シート  
4 手術台

B) 下の図記号の見え方の程度を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

 1 2 3 4 5

形がわからない 形がやや見にくい どちらともいえない 形が大体見える 形がはっきりと見える

### ○紙面調査画面イメージ（日本語 るび付き）

#### ①アンケートの説明ページ ②フェイスページ

●このページはあなたご自身についてお答えください。お名前を書かないでください。

回答日 2018 年 月 日

●該当するものに  をつけてください。

- あなたの年齢をお答えください。
  15～30歳  31～50歳  51～64歳  65歳以上
- あなたの性別をお答えください。
  男性  女性  その他  答えたくない
- あなたの最終学歴をお答えください。
  中学校卒  高校卒  大学以上  その他
- あなたが外出する時に使う補助具などはありますか？  
 当てはまるものをすべてお答えください。
  特になし  手動車いす  電動車いす  
 歩行器  杖（つえ）  白杖  
 コミュニケーションツール（コミュニケーション支援ボード、筆談具等）  
 その他（ ）
- 普段のものの見え方について、あなたに当てはまるものをお答えください。（普段メガネ、コンタクトを使用している方は、つけた時の見え方についてお答えください）
  特に問題ない  みえづらい  みえない
- 普段の聞こえ方について、あなたに当てはまるものをお答えください。（普段補聴器などを使用している方は、つけた時の聞こえ方についてお答えください）
  特に問題ない  きこえづらい  きこえない

#### ③記入例ページ

●このページは図記号と回答例を示しています。

A) 以下に示された答えについて、一番あっていと思う意味を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

 ① コインロッカー  
2 手荷物一時預かり  
3 手荷物は預ける前に錠をかける  
4 鍵コピー

B) 下の図記号の見え方の程度を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

 1. 2. 3. ④ 5.

形がわからない 形がやや見にくい どちらともいえない 形が大体見える 形がはっきりと見える

<このあと、回答ページが続きます。>

## 第2章 事業経緯

### ○紙面調査画面イメージ（日本語 るび付き）

#### ④調査ページ（例：介助用ベッド）

●次の図記号は駅、空港、公共施設、ショッピングモールなどで見かけることがあります。..

A) 以下に示された答えについて、一番あっていると思う意味を1つ選び、その数字を○で囲んでください。..



1.  休憩ベッド、  
 2.  マッサージ台、  
 3.  介助用シート、  
 4.  手術台、

B) 下の図記号の見え方の程度を1つ選び、その数字を○で囲んでください。..



1.  2.  3.  4.  5.

1.  形が、  
 わからない、  
 2.  形が、  
 やや、  
 見にくい、  
 3.  どちらとも、  
 いえない、  
 4.  形が大、  
 見える、  
 5.  形が、  
 はっきりと、  
 見える、

### ○紙面調査画面イメージ（日英併記）

#### ①アンケートの説明ページ ②フェイスページ

This page asks you for some information about yourself. Please do not give your name. (あなたご自身について伺います。お名前は書かないでください) ..

Date (回答日) Year 2018 年/ Month 月/ Day 日/ ..

Please put a tick in the following applicable box. (該当するものに✓をつけて下さい) ..

1. Age (あなたの年齢を教えてください) ..  
 Age 15-30 (歳)  Age 31-50 (歳)  Age 51-64 (歳)  Age over 65 (歳以上) ..

2. Sex (あなたの性別を教えてください) ..  
 Male (男性)  Female (女性)  Neither (どちらでもない)  No answer (答えたくない) ..

3. Please put a tick against whichever one best describes the level of education you completed or the qualification you obtained.. (あなたが終了または獲得した資格などから最も近いものを選んでください) ..  
 Left school at normal school-leaving age (中学校卒業、または義務教育終了) ..  
 Post-school qualification which is not a degree (高校卒業) ..  
 Degree or degree equivalent (大学、または学位に相当するもの) ..  
 Others (その他) ..

4. If you use auxiliary tools when you go out, please choose all of the following options which apply to you. (あなたが外出時に使用する補助具等があれば、当てはまるものをすべてお答えください) ..  
 None(特になし)  Manual wheelchair(手動車いす)  Motorized wheelchair(電動車いす)、  
 Walking frame(歩行器)  Walking stick(杖つえ)  White cane(白杖)、  
 Communication tools(コミュニケーションツール)  Others(その他) ( ) ..

5. Your visual performance / If you usually wear glasses or contact lenses, please answer when worn. (普段の見え方について、メガネ、コンタクトを使用している方は、着用時についてお答えください) ..  
 No problem (特に問題ない)  Not visible (見えづらい)  Invisible (見えにくい) ..

6. Your hearing ability / If you usually wear hearing aids, please answer when worn.. (普段の聞こえ方について、補助器具を使用している方は、着用時についてお答えください) ..  
 No problem (特に問題ない)  Difficult to hear (聞こえづらい)  Can't hear (聞こえない) ..

7. Your length of stay in Japan (あなたの日本の滞在期間について伺います) ..  
 Stayed in Japan more than a half year. (日本に半年以上滞在していたことがある) ..  
 Stayed in Japan more than two weeks and less than a half year.. (日本に2週間以上、半年以内滞在していたことがある) ..  
 Stayed in Japan less than two weeks as a tourist.. (旅行者として2週間以内滞在したことがある) ..

8. Your nationality, ethnic or cultural background. (あなたの国籍を教えてください) ..

[ ]

### ③記入例ページ

This page is a sample sheet showing a graphical symbol and how to answer. (このページは図記号と回答例を示しています) ..

This symbol appears in stations, airports, public facilities and shopping malls. You might find it at the signposts or walls. (この図記号は駅、空港、公共施設、ショッピングモールなどのサインや壁面で見かけます。..)

A) Put a tick which denotes the most appropriate meaning for the following symbol. (以下に示された回答について、一番適当だと思う意味を1つ選び口に○をつけて下さい) ..



1. Coin locker. (コインロッカー) ..  
 2. Baggage storage. (手荷物一時預かり) ..  
 3. Lock the baggage before check. (手荷物は預ける前に施錠する) ..  
 4. Key copy service. (鍵コピー) ..

B) Put a tick which denotes the most appropriate degree of visibility for the following small symbol. (下の小さい図記号の見え方の程度を1つ選び口に○をつけて下さい) ..



1.  2.  3.  4.  5.

Figure is invisible. (形が、わからない) ..  
 Figure is not visible. (形が、やや見にくい) ..  
 Neither. (どちらとも、いえない) ..  
 Figure is almost visible. (形が、大抵見える) ..  
 Figure is visible. (形が、はっきりと見える) ..

The test pages come after this sheet. (この次に、回答ページが続きます) ..

### ④調査ページ（例：介助用ベッド）

This symbol appears in stations, airports, public facilities and shopping malls. You might find it at the signposts or walls. (この図記号は駅、空港、公共施設、ショッピングモールなどのサインや壁面で見かけます。..)

A) Put a tick which denotes the most appropriate meaning for the following symbol. (以下に示された回答について、一番適当だと思う意味を1つ選び口に○をつけて下さい) ..



1. Resting bed. (休憩ベッド) ..  
 2. Massage table. (マッサージ台) ..  
 3. Multi-purpose sheet. (介助用シート) ..  
 4. Operating table. (手術台) ..

B) Put a tick which denotes the most appropriate degree of visibility for the following small symbol. (下の小さい図記号の見え方の程度を1つ選び口に○をつけて下さい) ..



1.  2.  3.  4.  5.

Figure is invisible. (形が、わからない) ..  
 Figure is not visible. (形が、やや見にくい) ..  
 Neither. (どちらとも、いえない) ..  
 Figure is almost visible. (形が、大抵見える) ..  
 Figure is visible. (形が、はっきりと見える) ..

## 第2章 事業経緯

### 2.3.2 試験結果評価方法

#### (1) 理解度試験

理解度試験は自由記述方式としていたが、新しいカテゴリーの項目も含まれているので、<JIS S 0102-2000 消費者用警告図記号－試験の手順>を準用した、四者択一方式での設問とした。

#### 1) 評価基準

評価基準は、正解のみを算出した。

段階	評価基準	評価	回答者数
1	正解	1点	$n_{a1}$
2	誤回答1	0点	$n_{a2}$
3	誤回答2		
4	誤回答3		
回答がない（回答を全くしなかった場合）		除外	除外

#### 2) 評価点の算出方法

$$\text{評価点} = (100 \times n_{a1}) \div (n_{a1} + n_{a2}) \%$$

$n_{a1} \sim n_{a2}$  は各段階の回答者数。無回答者は集計から除外。重複回答は1つに集計。

#### 3) 評価基準

- ・今回の理解度試験は、今までと異なり四者択一の正解率のみを算出しており、判断基準はない。そこで、SDAからの提案を受け、事務局として次の評価基準を出すこととした。  
更に次の点に留意することとした。
- ・今回の調査には今までどこにも存在しない新しい概念の図記号を含むため、評価結果は認知の目安として算出することに留める。
- ・誤回答は、誤って認識される可能性がある意味を知り、今後の啓発、普及時の参考とする。

正解率	評価区分	備考
75%以上	かなりの人が理解できている。	このまま使用する
50～74%	大半が理解できているが誤回答も無視できる割合ではない。	誤回答のブレを判断して図形を修正する。
50%以下	現状では理解されていない。	図形を再検討するか、このままの図形が意味的に正しい場合は普及、啓発を促進する。

## 第2章 事業経緯

### 4) 四者択一回答一覧

項目	段階			
1 介助用ベッド	1	正解	介助用ベッド	Care bed
	2	誤回答 1	休憩ベッド	Resting bed
	3	誤回答 2	手術台	Operating table
	4	誤回答 3	マッサージ台	Massage table
2 ベビーチェア	1	正解	ベビーチェア	Baby chair
	2	誤回答 1	おむつ交換台	Diaper changing table
	3	誤回答 2	幼児用便座	Toilet for baby
	4	誤回答 3	幼児休憩室	Resting room for baby
3 おむつ交換台	1	正解	おむつ交換台	Diaper changing table
	2	誤回答 1	授乳室	Nursing room
	3	誤回答 2	幼児休憩室	Resting room for baby
	4	誤回答 3	ベビーチェア	Baby chair
4 こどもトイレ	1	正解	こどもトイレ	Children's toilet
	2	誤回答 1	プレイルーム	Play room
	3	誤回答 2	託児所	Nursery
	4	誤回答 3	こども休憩室	Resting room for children
5 着替え台	1	正解	着替え台	Changing platform
	2	誤回答 1	荷物置き場	Baggage table
	3	誤回答 2	体重計	Weighing scale
	4	誤回答 3	補助いす	Jump seat
6 男女共用トイレ	1	正解	男女共用トイレ	Gender free toilet
	2	誤回答 1	だれでもトイレ	Toilet for all
	3	誤回答 2	男女別トイレ	Men's and women's toilet
	4	誤回答 3	更衣室	Locker room
7 カームダウン	1	正解	カームダウン	Calm down
	2	誤回答 1	休憩室	Resting room
	3	誤回答 2	待合室	Waiting room
	4	誤回答 3	証明写真	Photo booth

## 第2章 事業経緯

### (2) 視認性試験

#### 1) 評価基準

評価基準は、JIS S 0102-2000 消費者用警告図記号視認性試験に基づいた。なお、評価スケールの文言は、設問の意味をより正確に伝えるために、2000年度の試験と同様とした。

JIS S 0102-2000	見にくい	やや見にくい	どちらでもない	見える	容易に見える
今回の調査 (2000年度と同じ)	形がわからない	形がやや見にくい	どちらともいえない	形が大体見える	形がはっきりと見える
	Figure is invisible	Figure is not visible	Neither	Figure is almost visible	Figure is visible

段階	評価基準	評価	回答者数
5	形がはっきりと見える	100点	nb5
4	形が大体見える	75点	nb4
3	どちらともいえない	50点	nb3
2	形がやや見にくい	25点	nb2
1	形がわからない	0点	nb1
回答がない（画面に回答を全くしなかった場合）		除外	除外

#### 2) 評価点の算出方法

$$\text{評価点} = (100 \times \text{nb5} + 75 \times \text{nb4} + 50 \times \text{nb3} + 25 \times \text{nb2}) \div (\text{nb5} + \text{nb4} + \text{nb3} + \text{nb2} + \text{nb1})$$

nb1～nb5は各段階の回答者数。無回答者は集計から除外。重複回答は低い方の段階に集計。

#### 3) 適合基準

適合基準は、JIS S 0102-2000 消費者用警告図記号視認性試験に基づいた。

評価点	評価区分	
75点以上	使用可	見やすさについては全く問題ない。
50～74点	使用可	見やすさについて若干の問題がある。
25～49点	使用不可	修正のうえ、再試験を行う。
24点以下	使用不可	見やすさについて問題があり、使用は止める。

## 第2章 事業経緯

### 2.3.3 理解度・視認性試験結果

#### (1) 試験結果の概要

- ・今回の理解度・視認性試験は SDA が一般対象を担当し、エコモ財団が障害者団体および外国人を担当した。
- ・回答者は、障害者団体を含む日本人 362 名、外国人 83 名、計 445 名（5 月 15 日現在）で、障害者団体が 100 名以上加わったことで予定数 300 名を大きく上回る結果となった。
- ・年齢比率は、学生回答が多かったことから 50 歳以下が 75%を占めた。
- ・男女比率はほぼ同数であった。性別の質問で今回初めての試みであった（3.その他）（4.答えたくない）および無回答者が 3%あった。今後の調査の際にも配慮が必要と思われる。
- ・障害者の回答は 107 サンプルあるが、家族も含まれることから障害別の実数は調査結果からは分析しづらいので、障害者全体として把握することにした。

#### (2)理解度試験結果一覧

図記号	名称	日本+外国	日本	日本（障害者）	外国
	介助用ベッド	75%	79%	81%	58%
	ベビーチェア	71%	72%	73%	70%
	おむつ交換台	96%	97%	94%	91%
	こどもトイレ	60%	61%	64%	56%
	着替え台	46%	50%	58%	26%
	男女共用トイレ	58%	63%	51%	38%
	カームダウン	7%	8%	9%	0%

#### (3) 視認性試験結果一覧

図記号	名称	日本+外国	日本	日本（障害者）	外国
	介助用ベッド	51.5	51.0	69.6	53.8
	ベビーチェア	59.1	57.7	69.6	64.9
	おむつ交換台	70.1	70.5	76.0	68.5
	こどもトイレ	66.0	67.7	73.8	58.6
	着替え台	58.0	59.9	68.4	50.0
	男女共用トイレ	79.1	80.0	83.2	75.3
	カームダウン	68.8	71.3	72.9	58.5

上記検討結果を S D A に委ね、専門家としての提言を得ることとした。

## 第2章 事業経緯

### 2.4 SDAにおける検討結果

評価を依頼された SDA では委員会を開催し、試験結果の報告、評価基準の検討、デザイン案修正方針を検討した。

#### 2.4.1 理解度・視認性試験結果の評価

##### ①理解度試験の評価

評価基準を適用し、対応策を検討した。

項目	評価	評価区分
介助用ベッド	75%	75%以上なので、このまま使用する。
ベビーチェア	71%	75%に満たないが、すでに多くの場所で同様の図形が使用されているので、このまま使用する。
おむつ交換台	96%	75%以上なので、このまま使用する。
こどもトイレ	60%	託児所、こども休憩室の誤回答が 15%前後あるので、それらと誤解されないよう図形を修正する。
着替え台	46%	図記号になじみの多いと思われる日本人でも 50%以下、外国人は 27%で、荷物置き場の誤回答が多い。 図形の修正を検討する。
男女共用トイレ	58%	大半が理解できているが、反対の意味の「男女別トイレ」の誤回答が多い。男女間の仕切り線をとっただけで図形として成立するかどうか、意味性を含めて再検討する。
カームダウン	7%	10%未滿しか理解されていない。待合室、休憩室の誤回答が多い。原案は JIS 図記号「待合室」の変形なので、別案を検討する。

##### ②視認性試験結果の評価

評価基準を適用し、対応策を検討した。

項目	評価	評価区分
介助用ベッド	51.5	使用可。 見やすさについて若干の問題があるので、ディテールを修正する。
ベビーチェア	59.1	使用可。 見やすさについて若干の問題があるので、ディテールを修正する。
おむつ交換台	70.1	使用可。見やすさについて若干の問題があるが、すでに標準化されたベビーケアルームと同図材のため、そのまま使用する。
こどもトイレ	66.0	使用可。 見やすさについて若干の問題があるので、ディテールを修正する。
着替え台	58.0	使用可。 見やすさについて若干の問題があるので、ディテールを修正する。
男女共用トイレ	79.1	使用可 見やすさについては全く問題ない。
カームダウン	68.8	使用可 見やすさについて若干の問題があるが、理解度向上を先に検討する。

## 第2章 事業経緯

---

### 2.4.2 デザイン案修正方針の検討

前記の理解度・視認性試験結果及び評価結果から、検討図形を次のように修正することを本委員会に対して提案することにした。

- (1) 介助用ベッド      このままの図形でディテールを見やすくなるよう調整して使用する。
- (2) ベビーチェア      このままの図形でディテールを見やすくなるよう調整して使用する。
- (3) おむつ交換台      このまま使用する。
- (4) こどもトイレ      図形の要素は大きく変えないが、託児所、こども休憩室と誤解されないよう図形を修正する。
- (5) 着替え台          図形の要素は大きく変えないが、視認性にも問題あることから、荷物置き場と誤解されないよう図形を修正する。
- (6) 男女共用トイレ    この図形が意味的に適合していれば、このまま使用する。  
適合していない場合は図形そのものを再検討する。
- (7) カームダウン      図形の要素は大きく変えないが、待合室、休憩室と誤って理解されないよう、図形を再検討する。

## 第2章 事業経緯

---

### 2.5 試験結果のまとめと図記号修正方針

SDAより報告を受けた委員会では8月23日に第4回作業部会を開催し、今後の方針を検討した。検討結果は9月3日の第2回説明会で一般に公開したのち、項目名称との整理とともにSDAに最終図形の調整を依頼することとした。

#### 2.5.1 図記号修正方針

##### (1) 介助用ベッド

###### 1) 試験結果

・理解度正解率：75%、視認性評価：51.5点

###### 2) 作業部会及び各団体から意見

- ・介助者が必要でない場合もある。
- ・ベッドと車椅子マークを組み合わせることで使用者が明確になるのでは。
- ・設備を表現するか、機能を表現するかで図材が異なる可能性がある。

###### 3) 方針

・理解度が75%を超えていることから、図材はこのままとし、視認性向上のために補正を行う。

##### (2) ベビーチェア

###### 1) 試験結果

・理解度正解率：71%、視認性評価：59.1点

###### 2) 作業部会及び各団体から意見

・すでに多くの場所で同様の図形が使用されている。

###### 3) 方針

・理解度が75%に満たないが、図材はこのままとし、視認性向上のために補正を行う。

##### (3) おむつ交換台

###### 1) 試験結果

・理解度正解率：96%、視認性評価：70.1点

###### 2) 作業部会及び各団体から意見

- ・すでに多くの場所で同様の図形が使用されている。
- ・図形はJIS案内用図記号「ベビーケアルーム」の哺乳瓶を外しただけなので、同じ形を保つべき。

###### 3) 方針

・理解度が75%を超えていることから図材はこのままとし、修正せず使用する。

##### (4) こどもトイレ

###### 1) 試験結果

・理解度正解率：60%、視認性評価：66.0点

###### 2) 作業部会及び各団体から意見

・託児所の誤回答が18%、こども休憩室の誤回答が12%あるので、それらと誤解されないよう図形の修正が必要。

・男女の図形は変えようがないので（リボンなど）別の要素を付け加えることも考えられるが、性差は強

## 第2章 事業経緯

---

調しない方針がある。

- ・形を付け足す（アイテムを増やす）より、「文字による補助表示」が適切ではないか。
- ・図形は修正せず、当初は文字による補助表示で展開。後に認知度が高まった時点で図記号単独の使用に切り替る。
- ・単独で表示されることはなく、設置場所がトイレに限定されることを考えれば託児所と間違えることはない。

### 3) 方針

- ・形の要素は大きく変えないが、託児所、こども休憩室と誤解されないよう図形を微修正する。

## (5) 着替え台

### 1) 試験結果

- ・理解度正解率：46%、視認性評価：58.0点

### 2) 作業部会及び各団体から意見

- ・着替え台を知らない人が予想以上に多かった（別途ヒアリング）。また荷物置き場と誤答したのは男性が多い。広報が必要であり、荷物置き場と誤認されない修正が必要。ただし荷物置き場と誤認されても大きなリスクはないのではないか。
- ・図記号になじみの多いと思われる日本人でも50%以下、外国人は27%で、荷物置き場の誤回答が多い。
- ・仮に荷物置き場として利用されても実害はない。
- ・設備が設置される場所は（駅や空港など）限られている。

### 3) 方針

- ・図材はこのままとし、視認性向上のために補正を行う。

## (6) 簡易型オストメイト用設備

### 1) 試験結果

- ・理解度、視認性試験は行わず。

### 2) 作業部会及び各団体から意見

- ・スペース、予算の関係等でやむを得ず設置されるもので、普及のためには利用者の認識および広報が必要。
- ・簡易型オストメイト用設備を一覧等でまとめておく必要がある。

### 3) 方針

- ・図記号に「簡易型」の補助表示を行う。

## (7) 男女共用トイレ

### 1) 試験結果

- ・理解度正解率：58%、視認性評価：79.1点

### 2) 作業部会及び各団体から意見

- ・大半が理解できているが、反対の意味の「男女別トイレ」の誤回答が多い。男女間の仕切り線をとただけで図形として成立するかどうか、意味性を含めて再検討する。ジェンダーフリーなど様々な解釈の人々を含む意味であれば、英文でどのように訳すのかが課題であるが、この図形で良い。

## 第2章 事業経緯

---

- ・小規模飲食店等にて一般的に設備されている男女共用トイレの認識が良いのではないかと。特にジェンダーフリー用と呼ぶ必要はない。新幹線車両にも当ピクトが表示されている。
- ・特にジェンダーフリーを強調しなくても広範囲の使用が期待できる。
- ・便房配置計画が重要となるが、ピクト自体の問題は少ないとの印象。
- ・この図記号がついたトイレを使用することがストレスになるとの意見もあるが、トイレの設置場所を考慮することで問題は解決する。
- ・仮に間違った利用(例えば、子連れなど)があっても弊害はない。

### 3) 方針

- ・名称は、「男女共用トイレ (All gender toilet) 」とする。また、補助表記として、「文字による補助表示を付ける場合は「男女共用 All gender」または、そのどちらかとする。色彩はモノトーンが望ましい」と補記する。

## (8) カームダウン

### 1) 試験結果

- ・理解度正解率：7%、視認性評価：68.8点

### 2) 作業部会及び各団体から意見

- ・10%程度しか理解されていない。待合室、休憩室の誤回答が多い。原案はJIS図記号「待合室」の変形なので、別案を検討する。
- ・基本的にカームダウンの概念が一般的でないので、現在の方向で検討し、その後、図記号を広報、啓蒙し学習することを条件にするのが現実的。
- ・図形修正後も当初は文字による補助表示で展開し、当事者の理解度が高まれば良い。
- ・利用の場面を考えれば、やはり待合室との誤認(53%)が大きな問題になるのではないかと。
- ・ニーズは知的障害、発達障害対象だが、精神障害も(看護師のいる部屋の図記号を示す)異なる空間を求めている。
- ・名称に「カームダウン(クールダウン)」としてほしい。(カームダウンだけでは理解しきれない)
- ・(対象、用途を限定せず)もっとアバウトなレベルでもよい。
- ・共通言語化には時期尚早の可能性もある。
- ・一方で、ニーズが予想される場所には(混乱する前に)先立って図記号を提示することも社会的使命がある。
- ・特定化されるよりも、より使いやすくする戦術が必要。

### 3) 方針

- ・名称は「カームダウン・クールダウン Calm down, cool down」とする。
- ・図形は、待合室(ヤラウンジ)に誤解されないよう、角度をもう少し緩くして、疲れた様子のものを再提案する。

※その後作成した修正案について当事者団体からのコメントを頂き、次のように変更することとした。

- ・図形は、待合室(ヤラウンジ)に誤解されないよう、角度をもう少し緩くして、リラックスした様子のものを再提案する。(第4回作業部会結論)

## 第2章 事業経緯

### 2.5.2 検討結果

試験結果のまとめと図記号修正方針を受け、項目名称、図記号及び適用範囲等を整理した。

検討した項目	図記号案 (第2回意見交換会)	図記号修正案 (最終案含む)
<p>1. 介助用ベッド Care bed</p> <p>図材：ベッドに横たわる人と介助者 機能：おむつ交換、介助等多目的に利用できる設備を表示</p>	 <p>視認性向上のため、隙間を微修正</p>	 <p>修正した点 ・介助者の身長を下げ、足幅を広げ、左に移動 ・被介助者の膝を下げ、右に移動</p>
<p>2. ベビーチェア Baby chair</p> <p>図材：椅子に固定された幼児と洋便器に座る保護者 機能：トイレブース内にある乳幼児の固定設備を表示</p>	 <p>視認性向上のため、隙間を微修正</p>	 <p>調整した点 ・便器の形状を変更 ・ベビーケアルーム(JIS)にあわせ左右反転</p>
<p>3. おむつ交換台 Diaper changing table</p> <p>図材：乳幼児の上にかがみこむ人間を横から見た図 機能：おむつ交換ができる設備を表示</p>	 <p>このまま</p>	 <p>調整した点 ・ベビーケアルーム(JIS)にあわせ左右反転</p>
<p>4. こどもお手洗 Children's toilet (トイレ→お手洗 に変更)</p> <p>図材：男子と女子の立位 機能：独立した子供用のトイレゾーンを表示</p>	 <p>視認性向上のため、形を微修正</p>	 <p>調整した点 ・サイズ ・間隔調整</p>

<p>5. 着替え台 Changing board</p> <p>図材：壁面から回転させる足 乗せ台と立位の人 機能：トイレブース内にある着 替え用設備を表示</p>	 <p>視認性向上のため、 隙間を微修正</p>	 <p>修正した点 ・人を横向きにして、乗る動作を表す (荷物置きと区別するため)</p>	
<p>6. 簡易型 オストメイト用設備 Facilities for Ostomy</p> <p>図材：人の上半身正面図の 右下に白抜き十字 形 「簡易型」補助表示 機能：パウチ洗いの水洗設 備が付属する便器設 備を表示</p>	 <p>簡易型</p> <p>JIS Z8210 オストメイ ト図記号に「簡易型」 の補助表示をつける</p>	 <p>簡易型</p> <p>最終案 修正なし</p>	
<p>7. 男女共用お手洗 All gender toilet (トイレ→お手洗 に変更)</p> <p>図材：立位の女性と男性 中仕切なし 機能：性別に関係なく利用 できる、または介助者 と共に利用できるトイ レブースを表示</p>	 <p>文字による補助表示 を付ける場合は「男女 共用 All gender」ま たはそのどちらかとする 色彩はモノトーンが望 ましい</p>	 <p>調整した点 ・女性と男性の間隔調整</p>	
<p>8. カムダウン・クールダウン Calm down, cool down</p> <p>図材：間仕切りの中の椅子 にくつろいで座る人 機能：周りから独立して、気 持ちを落ち着かせるこ とができる小空間を表 示</p>	 <p>文字による補助表示 は「カムダウン・クール ダウン Calm down, cool down」とする 運用に適した利用説 明の表示が望ましい</p>	 <p>案1 修正点 ・囲いをピン角 ・椅子の背もたれの高さを 高くし、リラックスした状態を 表現</p>	<p>著作権の関係で 掲載不可</p> <p>案2 修正点 ・囲いをピン角 ・椅子にくつろいで座る人に 替えて、体育座りをした人 を表現</p>

## 第2章 事業経緯

### 2.6 最終提案

以上の検討を経て10月18日にエコモ財団より標準案内用図記号の追加図記号を公表し、経済産業省へ登録提案した。

検討した項目	図記号	検討した項目	図記号
<p>1. 介助用ベッド Care bed</p> <p>図材：ベッドに横たわる人と介助者 機能：おむつ交換、介助等多目的に利用できる設備を表示</p>		<p>5. 着替え台 Changing board</p> <p>図材：壁面から回転させる足乗せ台と立位の人 機能：トイレブース内にある着替え用設備を表示</p>	
<p>2. ベビーチェア Baby chair</p> <p>図材：椅子に固定された幼児と洋便器に座る保護者 機能：トイレブース内にある乳幼児の固定設備を表示</p>		<p>6. 簡易型 オストメイト用設備 Facilities for Ostomy</p> <p>図材：人の上半身正面図の右下に白抜き十字形 「簡易型」補助表示 機能：パウチ洗いの水洗設備が付属する便器設備を表示</p>	 簡易型 JIS Z8210 オストメイト図記号に「簡易型」の補助表示をつける
<p>3. おむつ交換台 Diaper changing table</p> <p>図材：乳幼児の上にかがみこむ人間を横から見た図 機能：おむつ交換ができる設備を表示</p>		<p>7. 男女共用お手洗 All gender toilet</p> <p>図材：立位の女性と男性 中仕切なし 機能：性別に関係なく利用できる、または介助者と共に利用できるトイレブースを表示</p>	 文字による補助表示を付ける場合は「男女共用 All gender」またはそのどちらかとする 色彩はモノトーンが望ましい
<p>4. こどもお手洗 Children's toilet</p> <p>図材：男子と女子の立位 機能：独立した子供用のトイレゾーンを表示</p>		<p>8. カムダウン・クールダウン Calm down, cool down</p> <p>図材：間仕切りの中の椅子にくつろいで座る人 機能：周りから独立して、気持ちを落ち着かせることができる小空間を表示 屋根のない間仕切り空間に表示することも可とする</p>	 文字による補助表示は「カムダウン・クールダウン Calm down, cool down」とする。「この部屋は気持ちを静めるための部屋です」など、運用に適した利用説明の表示をつけることが望ましい

## あとがき

2018 年度は、前年度積み残しの課題を解決し、2020 年東京オリンピック・パラリンピックにむけて発生した新たなニーズに対応するべく、単年度で集中した議論を重ね、標準案内用図記号に追加する図記号を検討いたしました。最後に検討過程において特記すべき事柄について以下の通りまとめます。

今年度策定された図記号は、「介助用ベッド」「ベビーチェア」「おむつ交換台」「こどもお手洗」「着替え台」「簡易型オストメイト用設備」「男女共用お手洗」及び「カームダウン・クールダウン」の 8 項目ですが、例年の図記号作成と大きく異なるところが 2 点ありました。

1 点目は 2020 年東京オリンピック・パラリンピック施設で必要とされる図記号を検討項目に加えて、施設建築に間に合うよう急ピッチで作業を行ったことです。これについては、東京都オリンピック・パラリンピック準備局、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会及び独立行政法人日本スポーツ振興センター新国立競技場設置本部に意見交換会に参画いただき、情報を共有し、公共案内用図記号の最も重要な使命であるデザインの統一を図ることができました。

2 点目は、「男女共用お手洗」や「カームダウン・クールダウン」など、急速に変化する社会事情に適合するよう、今までにない概念の図記号作成に挑戦したことです。「男女共用お手洗」は、LGBT の表現で代表される性的マイノリティの中でも、特に性別違和を抱えるトランスジェンダーのニーズと、高齢社会をはじめとした介護の現場で必要とされる異性介助という要求が、内容的には異なるものの実際に必要とされる設備は同じであることから、一つの図記号にまとめました。「カームダウン・クールダウン」は、公共空間では国内では成田空港で試行されている例があるのみで海外にも事例はなく、関連団体のご協力を得ながら手探りで策定しました。検討する際は、おそらく国内で考えられる限りの当事者の方々のご意見を伺い、最終的な合意形成に至った経緯があります。また、トイレ設備関係のいくつかの図記号は、前年度からの引き継ぎ検討事項である機能分散化の考え方に沿ったトイレ環境の改善に役立つものであり、「おむつ交換台」は 2017 年の JIS Z8210 改定で変更されたベビーケアルーム図記号の機能を補完する意味で策定されました。このように、今までは街中にあふれたバラバラの図記号を統一することを主眼としてきた活動が、未知のニーズを先取りする活動に変わってきた今年度は、図記号作成の大きなターニングポイントであると考えられます。

そのために、回答者の知見を問う従来の自由記述による理解度試験の評価が期待できず、正答を含む 4 項目から一つを選ぶ四者択一方式で正答率を評価する方法をとりました。このことは、今後の新しい評価方法を示唆すると共に、過去のデータと比較した評価を行うことができなくなった点が課題として残ります。

しかし、今回、新規に作成した図記号が、競技ピクトグラムのような華々しさはないものの、オリパラを契機に世の中に広く受け入れられ、今後未長く使用されることも大いに期待できます。まさに 1964 年東京オリンピックの際に使われたトイレ図記号が今や世界でも最も理解される国際的な図記号になったように、今回作成した図記号が社会の基盤として役立つことを願いつつ、今後もより一層の標準案内用図記号の開発と啓発活動を継続して参りたいと考えております。

この「2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたピクトグラム（図記号）のあり方検討事業成果報告書」については、下記のことにご承知ください。

1. 雑誌、記事などの出版物、及び学会、その他の会合で内容を発表する場合は、「本誌」によることを明らかにしてください。
2. 無断掲載及び複製をお断りいたします。

この事業は、2018 年度自主事業として実施したものの成果である。

## 2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたピクトグラム （図記号）のあり方検討事業 成果報告書

2019 年 3 月 発行

発行者：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団  
理 事 長 大 久 保 仁

〒102-0076 東京都千代田区五番町 10 番地 五番町 KU ビル 3 階  
電話：03-3221-6672(代) FAX：03-3221-6674  
URL：<http://www.ecomo.or.jp/>